

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告方法	電子公告により行う。

公告掲載URL
https://www.jeol.co.jp/ir/public_notice/index.html
(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他の各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

[JEOL Channel]

(当社関連の動画をご覧いただけます。)
<https://www.youtube.com/user/JEOLG/>



JEOL 日本電子株式会社

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2
TEL.042-543-1111 FAX.042-546-3353



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



WEBサイトのご紹介

株主の皆様へ当社をより理解していただくため、主な当社製品の仕組みや応用についてわかりやすく解説するページや、用語集など充実を図っています。

詳しくはトップページの「用語集」、製品情報の「やさしい科学」からご覧ください。



<https://www.jeol.co.jp/>



株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問合せ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

日本電子株式会社

証券コード：6951



第78期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日



電子ビーム描画装置 JBX-A9





平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第78期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長兼CEO

大井 泉

当中間連結会計期間における我が国の経済状況は、物価高によるマイナス影響が一部見られるものの、底堅い設備投資需要や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要回復などが下支えとなり、緩やかな回復傾向にあります。一方で、円安に起因する原材料・エネルギー価格の高止まり、中国経済減速など、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下、JEOLグループは、中期経営計画「Evolving Growth Plan」(2022年度～2024年度)に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上

および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。この結果、後記にご報告のと通りの業績となりました。

配当につきましては、業績および財務状況等を勘案した結果、中間期での配当を1株当たり44円とさせていただきます。

株主各位におかれましては、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

経営理念

日本電子は「創造と開発」を基本とし常に世界最高の技術に挑戦し製品を通じて科学の進歩と社会の発展に貢献します

Evolving Growth Plan

(2022年度-2024年度)

中期経営計画「Evolving Growth Plan」は、「YOKOGUSHI」戦略をさらに発展させるとともに、研究開発力、ものづくり力、サービス力のUPにより顧客満足度の向上を図ることを通じ、事業規模の拡大と高収益化につなげます。

基本的な考え方

「70年目の転進」をさらに進め、長期的かつ持続的な成長を実現するために以下に取り組みます。

コアテクノロジー強化

成長市場への積極参入

トータルソリューションの提供

必要な投資と収益性向上への取り組み

1 成長ビジョン「70年目の転進」の考え方は不変

創業以来培ってきた独自の技術と人脈を基に事業拡大を加速し更なる高収益化を実現する

2 YOKOGUSHI戦略の強化・発展

YOKOGUSHI戦略を従来の製品展開のみならず事業展開、データ活用へ発展させ、顧客により高い付加価値を提供していく

3 高収益化に向けた取り組み

参入障壁の構築、収益力向上に加え事業支援の強化に全社で取り組む

4 顧客への価値／社員・人材／売上・利益の3つのGrowthの実現

事業規模の拡大に向け、バランスの良い成長を実現する

5 SDGsへの取り組み

事業活動とESG活動の二つの点からマテリアリティ(重要な社会課題)に取り組んでいく

中期経営計画

https://www.jeol.co.jp/ir/new_midterm_management_plan/



決算説明会資料

https://www.jeol.co.jp/ir/financial_report/



数値目標

〔2024年度目標〕

連結売上高 **1,960**億円 連結営業利益 **330**億円

トピックス (2024年4月～9月)

2024年 5月

新型電子顕微鏡 JEM-120iを販売開始

—もっとみんなの
身近なツールへ—

研究や検査業務における身近なツールに対するニーズに応えるため、『Compact』、『Easy To Use』、『Expandable』をコンセプトとして開発しました。初心者・熟練者を問わず、操作からメンテナンスまで簡単に使える次世代の顕微鏡へと進化しました。



ハイスループット固体NMRプローブ 「ROYALプローブ™ AUTOMAS」を発売

AUTOMASプローブの基本的な機能に加えて、スライダーユニットによるチューニング範囲のシームレス化、マジックアングル自動調整機能、測定温度範囲の拡張などの新たな特徴を追加しました。使い勝手を飛躍的に向上させ、固体NMR測定をより身近なものにします。

高感度冷却プローブ「SuperCOOL MARVEL」を発表

SuperCOOLプローブシリーズは、プローブコイルやプリアンプを液体窒素温度に冷却することによって、熱ノイズを抑制し、高感度なNMR測定を行うことができます。本製品は、当社が長年培ってきた低温冷却技術のノウハウを駆使するだけでなく、プローブ内の電気回路設計を一新することで、大幅な感度向上を実現しました。



JEOL-Taiwan Advanced Semiconductor Solution Center (JTASC)を設立 —台湾での半導体産業サポートを強化—

台湾地域における半導体産業の更なる発展に寄与すべく、より充実したトータルソリューションをご提供することを目的とし、台湾新竹県竹北市にJTASCを設立しました。オープニングセレモニーでは、産学官からご参加いただいた多くのお客様に、当社が開発する半導体分析関連装置やソリューションをご紹介しました。

新型ショットキー電界放出形 走査電子顕微鏡 JSM-IT810を販売開始

—自動化技術の活用で装置調整、
観察、分析まで業務効率向上—

JSM-IT810は、次世代型電子光学制御システム“Neo Engine”と、ZeromagやEDSインテグレーションなどの高い操作性を実現する“SEM Center”が搭載されるJSM-IT800に、自動観察・分析機能“Neo Action”や自動校正機能を追加しました。効率性や生産性の向上だけでなく、労働力不足の解消に貢献します。



[用語集]
<https://www.jeol.co.jp/words/>



2024年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

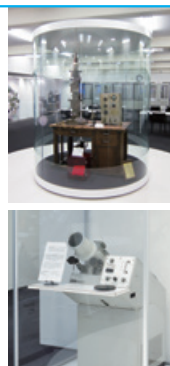
第3回 「羽ばたく女性研究者賞 (マリア・スクウォッドフスカ= キュリー賞)」受賞者が決定

2021年度に創設された「羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォッドフスカ=キュリー賞)」の第3回受賞者が決定しました。当社は第1回より賞金を贈呈しており、「羽ばたく女性研究者賞」への協賛を通じて日本の若手女性研究者の活躍を応援してまいります。

2024年 6月

電子顕微鏡2装置が 日本顕微鏡学会 「顕微鏡遺産」に認定

「磁界型電子顕微鏡DA-1型」(1947年完成)と「スーパースコープJEM-50B型」(1969年完成)が、日本顕微鏡学会(JSM)第1回「顕微鏡遺産」に認定されました。「顕微鏡遺産」は、顕微鏡学の発展に大きく貢献したエポックメイキングな技術や製品を文化遺産として後世に伝えることを目的に、JSMが導入した認定制度です。



新型断面試料作製装置 IB-19540CP/ IB-19550CCPを販売開始

—IoTクロスセクションポリリッシャ™誕生—

新GUIとIoT化により、さらに操作性が向上し、外部からPCでの操作や状況確認が可能になり使いやすく進化しました。ハイス



ループットイオンソースとハイスループット冷却システムにより、短い時間でダメージを低減した平滑な断面の作製が可能です。

お知らせ

75周年特設サイトを公開
<https://www.jeol.co.jp/75th/>



持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

経営理念のとおり、当社は最先端の科学研究に深く関与し、社会の課題解決や発展に取り組んできました。SDGsに貢献できる企業として、更なる発展を目指します。

事業活動を通じて達成を目指すSDGs目標

マテリアリティ	ターゲット目標
人々の健康と安全、 安心に貢献する製品の提供	3 持続可能な開発のための健康を確保しよう 11 持続可能な都市とコミュニティを築こう
科学の進歩と社会の持続的発展に貢献	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 消費する責任 13 気候変動に 適応する

ESGへの取り組みを通じて達成を目指すSDGs目標

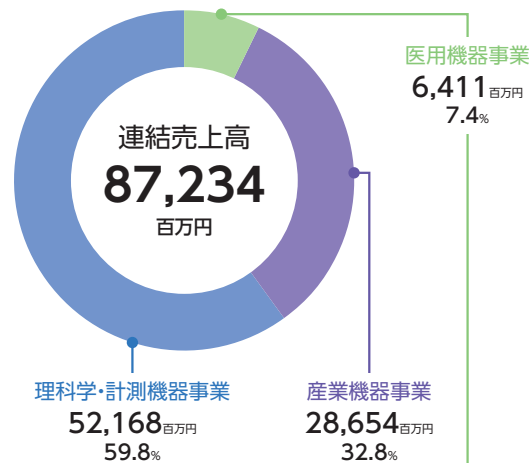
マテリアリティ	ターゲット目標
地域および社会への特色ある貢献活動	4 質の高い教育を みんなに 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
地球環境の保全と持続可能性に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 消費する責任 13 気候変動に 適応する
人材育成と人権の尊重	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も

営業の概況

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高が87,234百万円(前年同期比26.9%増)となりました。損益面におきましては、営業利益は15,817百万円(前年同期比90.8%増)、経常利益は14,099百万円(前年同期比38.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は10,916百万円(前年同期比45.2%増)となりました。

また、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が17,246百万円となり、有形固定資産の売却による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出があったことなどにより投資活動による資金の減少が1,562百万円となりました。一方、借入金の返済による支出および配当金の支払などにより財務活動による資金の減少が7,487百万円となりました。以上の結果、当中間連結会計期間末における資金は37,663百万円となりました。

第78期中間期 売上高構成比



JEOLグループの3つの事業ドメイン

理科学・計測機器事業

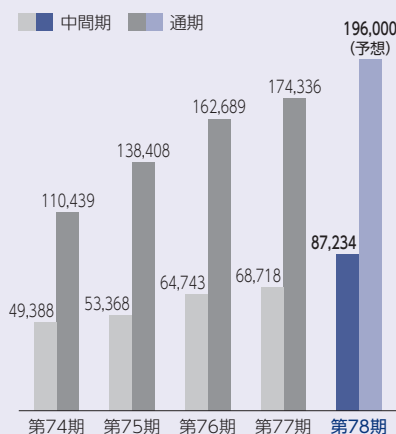
電子顕微鏡を中心に引合いは引き続き好調であり、半導体や電池分野などにおける研究開発や品質管理などの幅広い分野からの要求に応えました。

この結果、当事業の売上高は52,168百万円(前年同期比 18.2%増)となりました。

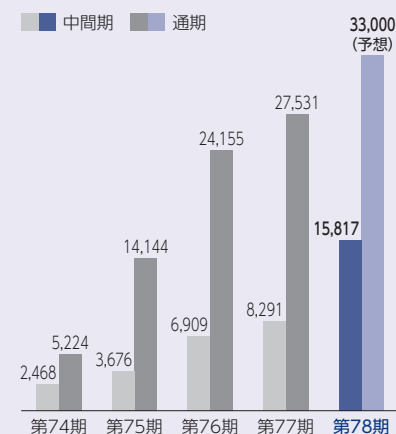


- **電子光学機器**
透過電子顕微鏡、分析電子顕微鏡、電子プローブマイクロアナライザ、光電子分光装置、オージェマイクロプローブ、電子顕微鏡周辺機器、軟X線分光器
- **分析機器**
核磁気共鳴装置、電子スピン共鳴装置、質量分析計(MALDI飛行時間質量分析計、ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計)、ポータブルガスクロマトグラフ
- **計測検査機器**
走査電子顕微鏡、分析走査電子顕微鏡、電子顕微鏡周辺機器、複合ビーム加工観察装置、集束イオンビーム加工観察装置、クロスセクションポリリッシャ™、エネルギー分散形蛍光X線分析装置、電子回折装置

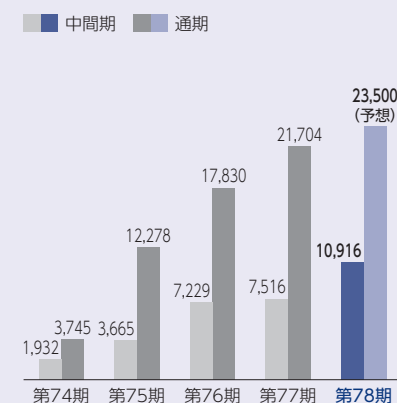
売上高の推移



営業利益の推移



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益の推移



産業機器事業

マルチビームマスク描画装置は、引き続き主要顧客の設備投資の本格的な回復が待たれます。一方で、シングルビームマスク描画装置とスポットビーム型電子ビーム描画装置においては受注・売上とも好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は28,654百万円(前年同期比 66.3%増)となりました。

- **半導体関連機器**
電子ビーム描画装置(スポットビーム描画、可変成形ビーム描画)
- **金属3Dプリンター**
電子ビーム金属3Dプリンター
- **成膜関連機器・材料生成機器**
直進形電子銃・電源、電子ビーム蒸着用電子銃・電源、ボンバード蒸着源、プラズマ発生用高周波電源、プラズマソース、高周波誘導熱プラズマ装置、粉末供給装置、研究開発用電子ビーム蒸着装置



医用機器事業

国内は受注・売上とも好調に推移しましたが、海外においては受注・売上とも低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は6,411百万円(前年同期比 12.9%減)となりました。

- **医用機器**
生化学自動分析装置、臨床検査情報処理システム



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

科 目	当中間期末	前期末
	2024年9月30日現在	2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	169,408	169,854
現金及び預金	39,646	31,504
受取手形、売掛金及び契約資産	43,741	56,034
商品及び製品	16,643	16,713
仕掛品	59,703	54,336
原材料及び貯蔵品	5,882	5,761
その他	4,523	6,354
貸倒引当金	△732	△850
固定資産	60,298	60,343
有形固定資産	22,421	22,515
建物及び構築物（純額）	9,721	9,901
機械装置及び運搬具（純額）	1,958	2,132
工具、器具及び備品（純額）	4,966	5,191
土地	3,798	3,831
リース資産（純額）	1,646	1,071
建設仮勘定	329	386
無形固定資産	2,846	2,270
のれん	534	599
その他	2,312	1,671
投資その他の資産	35,030	35,556
投資有価証券	28,247	29,601
その他	6,790	5,962
貸倒引当金	△7	△7
繰延資産	—	15
資産合計	229,707	230,213

科 目	当中間期末	前期末
	2024年9月30日現在	2024年3月31日現在
負債の部		
流動負債	83,702	88,100
支払手形及び買掛金	12,677	14,315
電子記録債務	14,065	15,197
1年内返済予定の長期借入金	5,686	6,943
未払法人税等	4,688	5,692
契約負債	36,245	35,035
賞与引当金	2,104	2,029
その他	8,235	8,886
固定負債	14,362	16,599
長期借入金	5,102	7,584
役員退職慰労引当金	23	20
役員株式給付引当金	584	651
退職給付に係る負債	6,469	6,595
資産除去債務	317	317
その他	1,864	1,430
負債合計	98,065	104,699
純資産の部		
株主資本	122,631	115,102
資本金	21,394	21,394
資本剰余金	21,271	21,271
利益剰余金	80,653	73,284
自己株式	△688	△847
その他の包括利益累計額	9,011	10,411
その他有価証券評価差額金	5,672	6,198
繰延ヘッジ損益	112	△151
為替換算調整勘定	2,049	3,207
退職給付に係る調整累計額	1,177	1,157
純資産合計	131,642	125,513
負債純資産合計	229,707	230,213

中間連結損益計算書

科 目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日から 2024年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	87,234	68,718
売上原価	44,137	35,678
売上総利益	43,097	33,040
販売費及び一般管理費	27,279	24,748
研究開発費	6,140	5,260
その他	21,138	19,488
営業利益	15,817	8,291
営業外収益	720	2,022
受取利息	91	69
受取配当金	117	93
受託研究収入	92	105
為替差益	—	1,503
持分法による投資利益	254	118
その他	163	131
営業外費用	2,438	121
支払利息	58	27
売上債権売却損	1	0
保険解約損	49	41
為替差損	2,266	—
その他	62	51
経常利益	14,099	10,192
特別利益	5	177
固定資産売却益	5	153
関係会社株式売却益	—	24
特別損失	8	128
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	5	5
投資有価証券評価損	—	123
税金等調整前中間純利益	14,096	10,242
法人税、住民税及び事業税	4,418	3,327
法人税等調整額	△1,238	△600
法人税等合計	3,179	2,726
中間純利益	10,916	7,516
親会社株主に帰属する中間純利益	10,916	7,516

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当中間期	前中間期
	2024年4月1日から 2024年9月30日まで	2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	17,246	1,402
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,562	△1,091
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,487	△4,547
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△340	1,451
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	7,856	△2,785
現金及び現金同等物の 期首残高	29,807	32,004
現金及び現金同等物の 中間期末残高	37,663	29,218

● 会社概要 (2024年9月30日現在)

● 会社概要

設 立 1949年5月30日
資 本 金 213億9,418万円
従業員数 連結:3,468名
単独:2,308名

● 役員

代表取締役社長兼CEO 大田 矢 関 小 金 菅 寺 四 福 高 後 湊
取締役兼専務執行役員 井 澤 口 林 山 野 島 方 山 橋 藤
取締役兼専務執行役員 豊 勝 敦 彰 俊 隆 ゆ か り 一 充 史 彦
取締役兼常務執行役員 泉 彦 基 司 宏 彦 二 薫
取締役兼常務執行役員 社 外 取 締 役 社 外 取 締 役 社 外 取 締 役 常 勤 監 査 役 常 勤 監 査 役 社 外 監 査 役 社 外 監 査 役

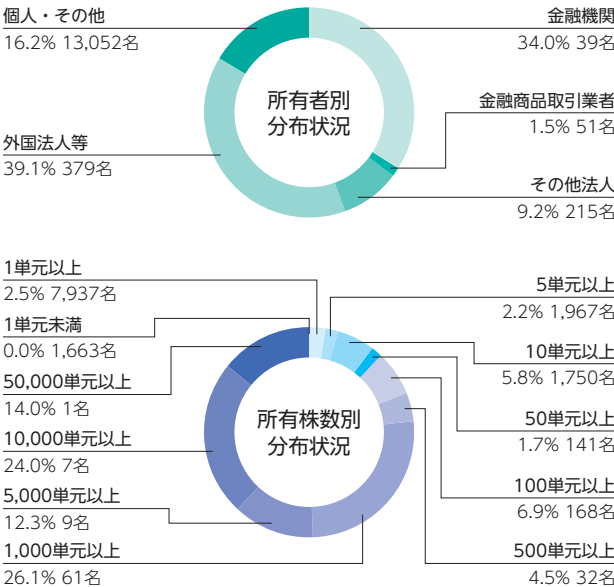
● 株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式の総数 51,532,800株
株 主 数 13,736名
大 株 主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	7,187	14.0
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,677	7.2
(株)ニコン	2,300	4.5
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	2,048	4.0
(株)三菱UFJ銀行	1,125	2.2
日本電子共栄会	1,101	2.1
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,075	2.1
日本生命保険(相)	1,042	2.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	986	1.9
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	841	1.6

(注)持株比率は自己株式(120,123株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況



事業所一覧

- 1 本社・昭島製作所
- 2 昭島第二製作所
- 3 武蔵村山製作所
- 4 東京事務所
- 5 東京支店
- 6 東京第二事務所
- 7 札幌支店
- 8 仙台支店
- 9 筑波支店
- 10 名古屋支店
- 11 大阪支店
- 12 西日本ソリューションセンター
- 13 広島支店
- 14 高松支店
- 15 福岡支店

国内関係会社

日本電子テクノサービス(株)
日本電子山形(株)
日本電子インスツルメンツ(株)
(株)システムインフロンティア
マイクロ電子(株)

海外関係会社

- A JEOL USA, INC. (アメリカ)
B JEOL (EUROPE) SAS (フランス)
C JEOL (U.K.) LTD. (イギリス)
D JEOL (EUROPE) B.V. (オランダ)
E JEOL (GERMANY) GmbH (ドイツ)
F JEOL ASIA PTE. LTD. (シンガポール)
G JEOL TAIWAN SEMICONDUCTORS LTD. (台湾)
H JEOL (AUSTRALASIA) PTY. LTD. (オーストラリア)
I JEOL DE MEXICO S.A. DE C.V. (メキシコ)
J JEOL CANADA, INC. (カナダ)
K JEOL (Nordic) AB (スウェーデン)
L JEOL (ITALIA) S.p.A. (イタリア)
M JEOL Shanghai Semiconductors Ltd. (中国)
N JEOL SEMICONDUCTORS KOREA Co., Ltd. (韓国)
O JEOL (MALAYSIA) SDN. BHD. (マレーシア)
P JEOL DATUM Shanghai Co., Ltd. (中国)
Q JEOL BRASIL Instrumentos Cientificos Ltda. (ブラジル)
R JEOL (BEIJING) CO., LTD. (中国)
S JEOL (RUS) LLC (ロシア)
T JEOL INDIA PVT. LTD. (インド)
U JEOL GULF FZCO (UAE)
V JEOL ASIA (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
W JEOL KOREA LTD. (韓国)
X Integrated Dynamic Electron Solutions, Inc. (アメリカ)
Y JEOL USA Investment, Inc. (アメリカ)
Z J&B TECHNICAL OPERATIONS LTD. (台湾)